

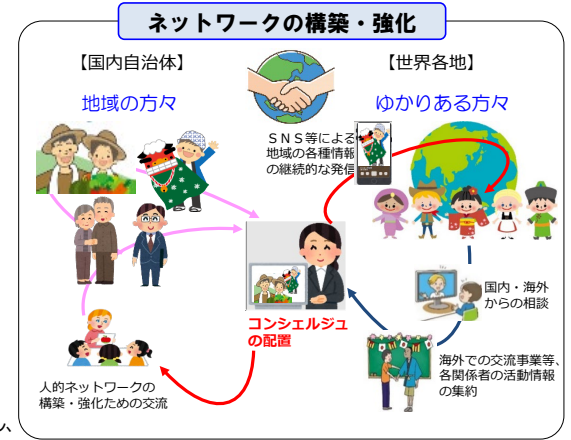
事業の概要

人口減少・少子高齢化が急速に進展する我が国において、令和6年6月時点で外国人住民が350万人を超えるなど、地域社会における外国人との連携・協働の重要性が増している。また、総務省や関係省等が昭和62年から実施しているJETプログラム（※）により、累計で82カ国から8万人が来日して外国語指導等に従事し、帰国後も世界各国において、親日派・知日派として活動している。さらに、各地方自治体においても、姉妹都市・日系社会との交流やインバウンドの受け入れ等を通じて、世界各地との関係を深める多様な取組が行われている。

このような状況の中、これまで様々な分野において拡大してきた海外とのネットワークを地方自治体において集約するとともに、日本にゆかりのある方々との連絡体制等を可視化し、継続的な交流機会を創出することで、世界各地とのつながりがより強化されることが期待される。

以上をふまえて、総務省では、JET経験者や海外の日系社会など、日本にゆかりのある方々と国内の自治体の連携を強化し、海外における力強い「地域のサポーター」になってもらうことを目的とする取組を支援するとともに、このような取組の横展開を目指す事業を実施した。

（※）JET：JETプログラム（The Japan Exchange and Teaching Programme）で外国青年を招致して地方公共団体等で任用し、外国語教育の充実と地域の国際交流の推進を図る、世界最大規模の人的交流プログラム。S62以降、累計で82カ国から約8万千人



令和7年度採択団体と実施事業

団体名	事業名
宮崎県	未来の県人会を担う若者招へい事業及び現地等での県PR事業 <主な取組内容> ・県内で英語科を設置している高校へ若者を招へいする ・物産展のPRやワークショップ企画への協力参画 ・県人会の活動について、県内の方々へ周知
富山県	富山県人会世界大会の開催 <主な取組内容> ・県人会長、次世代会議、記念式典、海外県人会ビジネスセミナー、若手世代交流、各種PRブース、ふるさと巡りツアーの開催
長野県	JET経験者招へいプログラムによる交流ネットワークの発展 <主な取組内容> ・「NagaNet」の更なる発展に向けたプログラムの一つとして、海外在住のJET経験者、県内の現役JET、一般県民、企業等の交流や、シンポジウムの開催等を行う。

調査・検証体制と全体フロー

本事業では、各採択団体が事業を実施するにあたり、事業事務局において進捗管理及び取組内容や成果についての調査・検証を行った。

